

神居岩～完成したらこんなに楽しい広場に

春日高台公園へ
クロスカントリーコース
風車の丘
(風により電気をおこす)

オリエンテーリングコース

紅葉の森

ピクニック広場

↑至春日町へ

メイン広場
小動物園

ツツジの森
サクラの森

レストラン
(宿泊施設)

花壇・芝生広場

遊び広場

彫刻広場

スキーのトレーニングコース

ゴーカートコース 1,250m

多目的広場
ソフトボール
サッカー
スケートリンク

温水プール

老人憩いの村
生きがい広場

展望広場
ベンチ・立見台
(市内を一望できる)

ファミリー・スキー場
リフト 800m
スーパースライダー・コース 500m
ベビーリフト 300m
ジャンプ台

神居岩温泉
シンボル広場
(コンサートなどに使える)

東雲町へ

四季を通じた市民憩いの場に 神居岩地域を観光とレクリエーションの基地に

市プロジェクトチームが開発構想を策定

神居岩開発構想について

国道231号線の開通をこの秋にひかえ、市としても《日本海オロロンライン》の中継地として、特色ある観光資源の開発と、市民の健康づくり、余暇有効活用場の場として、神居岩地域の開発に取り組みを進めるため、この基本となる開発構想の策定を、昨年8月に市プロジェクトチームを編成し、作業を進め、さる3月に原田市長に提示したもので、その構想について、ご紹介してみたい。(ただし、ここに示すのはあくまでも構想であり、細部にわたる計画、実施計画については、さらに綿密な調査検討を加えなければならないことは申すまでもありません。したがって完成予想図を示すのみで各施設の明確な予定及び完成年次等の表現はできませんことを申し添えます。)

オロロン・ラインの中継基地に

神居岩地区開発は、近年の余暇活動意識の高まりと、それに合わせた施設整備要望への対応と、同地域に温泉が湧いたことで、老若を問わず、自然環境と調和した日常的なレクリエーションの場づくりが望まれていること。

さらに、幻の国道といわれ、また西の知床といわれる国道231号線の本年十月開通と合わせて、管内の各市町村でも観光的な対応が求められている訳ですが、この札幌を起点とした石狩・留萌・稚内へと続く日本海コースの中で、南には暑寒別岳、北に天売・焼尻という道立自然公園を持つ地域と違い、特に誇る観光資源を持たない本市としては、観光的要素をもった滞留地としての施設づくりを進めなければ、これらの日本海オロロンラインの開通後に対応できないということから、この神居岩地域開発構想が急がれたものです。

すでに同地域には桜の森、ツツジの森が完成しており、さらに五月中旬からファミリースキー場の造成、リフトの設置に着手するなど着実に整備が進められています。今後の施設等の配置に対する基本としては、先の留萌市新総合計